

昭和59年度施政方針

昭和59年度施政方針

昭和59年第1回定例議会を開催するに当たり、私の市政の一端を申し述べさせていただきたいと存じます。

私の任期も残り少なくなり、過去四年間を振り返ってみますと、エネルギー問題に端を発し、物価、経済等、国の内外を問わず難題が山積しておりました。また、地方自治体におきましても諸般の情勢は極めて厳しい年でもありました。このような状況の中にあつて、当市におきましては、議員各位並びに市民の皆様方の深い御理解と御協力により、お陰様をもちまして堅実な財政基調を維持し、今日まで順調なペースで市政を運営してまいることができましたことを心から感謝申し上げます。

今年度も引き続き健全財政を維持してまいりたいと思います。

昭和59年度の行政運営について、当初予算を中心として施策の大綱について述べたいと存じます。

はじめに、当初予算規模でございますが、一般会計予算は、117億6,420万2千円で、対前年度との伸び率7.2パーセント、特別会計、受託水道会計予算を合わせますと総額162億1,691万6千円となっており、全体的に低い伸び率となっております。これは、事業の完成に伴い、下水道事業会計、区画整理事業会計等の予算減少によるものでございます。

次に、施策の大綱についてでございますが、都市基盤の整備、教育文化施設の充実等市民福祉の向上を目指し、「活力ある市民のまちづくり」に向け行政運営を図ってまいりたいと存じます。

まず、快適で豊かな市民生活が営まれ、活発な都市活動が安全で、かつ、能率よく行われるために、当市の市街地整備につきましては、すでに土地区画整理方式により事業を推進してきたところでございまして、このたび、福生駅を中心とした東口土地区画整理事業は、お陰様をもちまして完了いたし、市街化区域の約37パーセントが面的整備を完了いたしました。また、西口周辺地区の再開発事業につきましては、昨今の状況下におきまして非常に困難な問題がございしますが、当該地区の方々の熱意と市議会並びに関係機関の深い御理解と御協力を得ながら開発の実現に向け努力してまいりたいと存じます。さらに、残りの未整備地区のうち、特に熊川地区の一部につきまして、今後、土地区画整理事業の推進を図りたく、本年度、調査費を計上いたしました。

次に、御案内のとおり建設省では、多摩川八景の選定に取り組んでおります。そこで、当市においてもその候補地として、柳山公園、かに坂公園周辺、そして、五日市線と桜堤があげられております。いずれも多摩川左岸に武蔵野の面影を色濃く残して、市民の憩いの場として親しまれている場所でもあります。これと一体となる多摩川は、かつての清流の面影を若干残すにとどまっております。自然の景観を後世に伝承するとともに、豊かで潤いのある多摩川となるよう水質、

水量両面にわたり関係機関に要望し、その浄化等に力を注いでまいり所存でございます。また、本年度から新たに福生桜まつり事業の委託をしております。

次に、地域の実態に即した市民の自主的な地域活動の場として最も望ましい地域会館の建設をここ数年急速な発展をとげた田園地区に、児童館機能を含んだ会館を建設し、地域住民の利便と福祉の向上を図ってまいりたいと存じます。

次に、昨年の6月定例会で御議決いただきました西多摩地域広域行政圏に参画するなかで、現在事務事業の内容につきまして、組織団体と協議いたしているところでございます。当市における課題は山積しており、当面の施策といたしましては、医療機関の充実と圏内地域との交流円滑化のための交通機関の設置等議会に御相談申し上げ十分検討を加え、活力ある街づくりを推し進めてまいりたいと存じます。

次に、幼児教育の一環として、本年度新たに私立幼稚園教諭に対し、研修経費の一部助成を実施し、資質の向上と幼児教育の充実に努めてまいります。

医療保健対策につきましては、心身ともに健康で幸せな生活を送ることがすべての人の願いであり、市民が寄せる期待は大きなものがあります。昨年2月に老人保健法が施行され、現在、健康センターで実施いたしております各種予防検診、健康相談、健康教育、訪問指導等医師会等の御協力をいただき、病気の早期発見や予防にも努めてまいります。

さらに、「豊かな人間と文化を育てるため」の施策といたしまして、屋外運動場並びに仮称熊川野球場の整備に努めてまいります。

次に、市政運営を進めるうえで避けて通ることができない基地問題につきましては、基地からの弊害に対し、できる限り和らげるよう引き続き関係機関に積極的に要望をするとともに、市民の安全性の確保と公共施設等の整備により一層努力してまいりたいと思います。

次に、昨今の経済不況の中で問題視されております職員の給与につきましては、給与体系を見直し、適正化を図ってまいりたいと思っております。

以上、主な施策について申し述べましたが、いずれにいたしましても地方自治体を取り巻く諸情勢は厳しいものがあります。こうした困難に対し、全力を尽くして健全な市政運営を図り、市民生活の向上を目指し、市民の声が十分反映されるよう配慮しながら行政と市民とが一体となった行政運営を執行してまいりたいと思います。

終わりに臨み、ここに御参集の議員各位並びに市民各位の御理解と御協力を切にお願い申し上げます。私の市政に対する所信の発表を終わらせていただきます。